



2020年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月6日

上場会社名 株式会社ボルテージ
コード番号 3639 URL <https://www.voltage.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 津谷 祐司
問合せ先責任者 (役職名) 経財本部長 (氏名) 大島 小百合

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	3,247	11.7	124		116		160	
2019年6月期第2四半期	3,678	1.6	93		108		116	

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 156百万円 (%) 2019年6月期第2四半期 115百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	30.83	
2019年6月期第2四半期	22.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	2,602	2,002	76.6
2019年6月期	2,783	2,004	72.0

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 1,993百万円 2019年6月期 2,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		0.00	0.00
2020年6月期		0.00			
2020年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年6月期の配当予想は未定としております。

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

2020年6月期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想数値の算定が困難であることから記載しておりません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	5,533,675 株	2019年6月期	5,233,675 株
期末自己株式数	2020年6月期2Q	91,581 株	2019年6月期	91,581 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	5,192,094 株	2019年6月期2Q	5,139,244 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復する中で、企業収益は高い水準にあるものの、製造業を中心に弱含んでおります。個人消費は、消費者マインドに持ち直しの動きが見られ、実質総雇用者所得は緩やかに増加しております。

また、モバイルコンテンツ業界においては、アプリストアの消費支出は2019年は1,200億ドル(2016年の2.1倍)に到達し、モバイルゲームは消費支出の72%を占めるまでになりました。

(注1)。

当社グループにおきましては、「日本語女性向け」「英語女性向け」「男性向け」「リアイベ・電書・映像」の4区分で事業を運営しております。イベント・ライツ展開の拡大に伴い、当第2四半期連結会計期間より、「アプリ外」から「リアイベ・電書・映像」に区分名を変更いたしました。

当第2四半期連結累計期間における売上は、「リアイベ・電書・映像」が増加したものの、「日本語女性向け」「英語女性向け」等が減少し、3,247,579千円(前年同期比11.7%減)となりました。費用は、採用抑制等に伴う労務費の大幅な減少や売上減少による販売手数料の減少、サーバーのクラウド化やオフィス減床による賃借料の減少により、全体として大幅に減少しました。その結果、営業損失は124,651千円(前年同期は営業損失93,604千円)、経常損失は116,549千円(同 経常損失108,260千円)となりました。またソフトウェア等の減損損失による特別損失41,905千円の計上があったことで、親会社株主に帰属する四半期純損失は160,088千円(同 親会社株主に帰属する四半期純損失116,250千円)となりました。

事業区分別の業績は、以下の通りであります。なお、第2四半期連結会計期間より、事業区分を変更しておりますので、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の事業区分に組み替えて比較しております。

事業区分別の主要なタイトル名、及びその略称は次の通りです。

事業区分	分類	主要タイトル	略称
日本語女性向け	読み物型 (注2)	100シーンの恋+ ダウト~嘘つきオトコは誰?~	100恋+ ダウト
	アバター型 (注3)	天下統一恋の乱 Love Ballad 誓いのキスは突然に Love Ring 眠らぬ街のシンデレラ 鏡の中のプリンセス Love Palace 新◆王子様のプロポーズ Eternal Kiss 魔界王子と魅惑のナイトメア	恋乱 誓い シンデ ミラプリ 王子 魔界
	カード型 (注4)	あやかし恋廻り	あや恋
	声優型 (注5)	アニドルカラーズ	アニドル
英語女性向け	読み物型	Love365: Find Your Story (注6) Lovestruck: Choose Your Romance (注7)	Love365 Lovestruck
	カード型	Ayakashi: Romance Reborn	Ayakashi
男性向け	カード型	六本木サディスティックナイト	六本木
リアイベ (リアルイベント) ・電書・映像	イベント・ライ ツ展開	「アニドル」ファンミーティング	—
	コンシューマ展 開	Nintendo Switch向け「スイートルーム で悪戯なキス」	—

- ①日本語女性向け
日本語女性向けは、「読み物型」「アバター型」「カード型」「声優型」に分類して展開しております。
主力の「アバター型」「読み物型」が減少し、売上高は1,965,095千円（前年同期比12.0%減）となりました。
- ②英語女性向け
英語女性向けは、「Love365」「Lovestruck」等が該当します。
主に「Love365」が減少したことにより、売上高は709,884千円（前年同期比20.6%減）となりました。
- ③男性向け
主に「六本木」が減少したことにより、売上高は504,787千円（前年同期比1.8%減）となりました。
- ④リアイベ・電書・映像
リアイベ・電書・映像はイベント、グッズなどのイベント・ライセンス展開、Nintendo Switch向けコンテンツのコンシューマ展開等が該当します。
主にイベント・ライセンス展開が増加したことにより、売上高は67,812千円（前年同期比87.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2,602,816千円（前連結会計年度末比180,829千円減）となりました。

流動資産は、2,243,341千円（同121,630千円減）となりました。その主な要因は、売掛金の減少246,548千円や、新株予約権の行使等による現預金の増加77,426千円及びオフィス返却に伴う敷金の返却等による未収入金の増加53,730千円によるものであります。

固定資産は、359,474千円（同59,198千円減）となりました。その主な要因は、ソフトウェア等の減損による無形固定資産の減少37,118千円及びオフィス返却に伴う敷金の返却等による投資その他の資産の減少24,252千円によるものであります。

(負債の部)

負債合計は、600,318千円（同178,393千円減）となりました。

流動負債は、600,318千円（同178,393千円減）となりました。その主な要因は、未払費用の減少77,021千円及び未払消費税等の減少60,742千円によるものであります。

(純資産の部)

純資産は、2,002,497千円（同2,435千円減）となりました。その主な要因は、新株予約権行使によって資本金及び資本準備金がそれぞれ72,225千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少160,088千円があったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して77,426千円増加し、1,423,372千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、40,165千円の資金を支出する結果（前年同期比358,402千円の収入の減少）となりました。その主な要因は、未払消費税等の増減額の減少212,816千円、減価償却費及びその他の償却費、ソフトウェア償却費の減少95,691千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、41,808千円の資金を支出する結果（前年同期比102,880千円の収入の減少）となりました。その主な要因は、敷金の回収による収入の減少136,617千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、153,630千円の資金を得る結果（前年同期比153,317千円の収入の増加）となりました。その主な要因は、株式の発行による収入の増加153,208千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2020年6月期第3四半期以降、現在の基幹事業である「物語アプリ」に成長要素を取り込み、「足元黒字化&次の成長」の実現を目指してまいります。

具体的には、物語アプリを進化させる「アプリ進化戦略」、物語アプリとリアルイベントによる相乗効果を狙う「ファンダム(注8)戦略」、物語の制作ノウハウを用いて成長市場に展開する「多角化戦略」の3つの戦略を実行いたします。

また、物語アプリのパイプラインとしては以下の通り、アプリ内新作4本程度の開発・準備を継続してまいります。

新規タイトル

事業区分	2019年6月期		2020年6月期	
	投入済	投入済	投入済	予定
日本語女性向け	1本	2本	—	—
英語女性向け	1本	—	—	—
男性向け他	1本	—	—	—

アプリ内新作

日本語女性向け	4本	2本	2本程度
英語女性向け	7本	4本	2本程度

なお、業績予想については、当社グループを取り巻く事業環境の変化が激しく、信頼性の高い業績予想数値を算出することが困難であるため、非開示といたします。

- (注) 1. 出所：App Annie Inc. 「モバイル市場年鑑2020」2020年1月15日発表。
2. 読み物型：ストーリーを楽しむことがメインとなるタイプのアプリ。
3. アバター型：ストーリーをメインに、アバターなどのゲーム性を組み合わせたタイプのアプリ。
4. カード型：カードの収集・育成要素を持つタイプのアプリ。
5. 声優型：アプリ運用と並行し、声優陣を起用したリアルイベントやwebメディア露出等を積極的に展開するタイプのアプリ。
6. Love365: Find Your Story：日本語版恋愛ドラマアプリを翻訳した海外市場向けコンテンツであり、1つのアプリ内で複数のタイトルが楽しめる「読み物アプリ」。
7. Lovestruck: Choose Your Romance：SFスタジオ（米国サンフランシスコにある連結子会社）にて海外市場向けに制作した「読み物アプリ」。
8. ファンダム：作品へのポジティブな深い感情的なつながりから生まれたファン文化。当社グループのタイトルを消費するだけでなく、共感・応援するファン集団を指す。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,345,946	1,423,372
売掛金	932,141	685,593
前払費用	69,868	54,002
その他	17,227	80,574
貸倒引当金	△213	△201
流動資産合計	2,364,971	2,243,341
固定資産		
有形固定資産	4,911	7,083
無形固定資産		
ソフトウェア	39,971	1,370
コンテンツ	157	1,640
無形固定資産合計	40,128	3,010
投資その他の資産	373,633	349,380
固定資産合計	418,673	359,474
資産合計	2,783,645	2,602,816
負債の部		
流動負債		
買掛金	101,008	81,445
未払金	1,044	825
未払費用	527,214	450,192
未払法人税等	14,463	9,290
預り金	43,745	34,752
賞与引当金	6,007	-
その他	85,227	23,813
流動負債合計	778,711	600,318
負債合計	778,711	600,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	942,554	1,014,779
資本剰余金	908,154	980,379
利益剰余金	242,265	82,177
自己株式	△100,222	△100,222
株主資本合計	1,992,752	1,977,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△54	317
為替換算調整勘定	12,235	15,867
その他の包括利益累計額合計	12,180	16,184
新株予約権	-	9,198
純資産合計	2,004,933	2,002,497
負債純資産合計	2,783,645	2,602,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,678,324	3,247,579
売上原価	1,320,164	1,215,065
売上総利益	2,358,160	2,032,514
販売費及び一般管理費	2,451,764	2,157,165
営業損失(△)	△93,604	△124,651
営業外収益		
受取利息	1,427	3,306
受取配当金	0	23
投資有価証券売却益	-	357
固定資産売却益	-	510
為替差益	-	4,425
雑収入	1,828	796
営業外収益合計	3,255	9,419
営業外費用		
為替差損	4,734	-
投資有価証券評価損	-	1,053
固定資産売却損	3,660	-
固定資産除却損	9,506	37
雑損失	10	227
営業外費用合計	17,912	1,317
経常損失(△)	△108,260	△116,549
特別損失		
減損損失	6,008	41,905
特別損失合計	6,008	41,905
税金等調整前四半期純損失(△)	△114,268	△158,454
法人税、住民税及び事業税	1,982	1,633
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	1,982	1,633
四半期純損失(△)	△116,250	△160,088
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△116,250	△160,088

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△116,250	△160,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	372
為替換算調整勘定	502	3,631
その他の包括利益合計	502	4,003
四半期包括利益	△115,748	△156,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△115,748	△156,084

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△114,268	△158,454
減価償却費及びその他の償却費	24,805	△19,344
ソフトウェア償却費	58,809	7,266
減損損失	6,008	41,905
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△72	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,365	△6,022
固定資産売却損益(△は益)	3,660	△510
固定資産除却損	9,506	37
資産除去債務戻入益	△3,119	-
受取利息及び受取配当金	△1,427	△3,329
為替差損益(△は益)	△986	△4,560
投資有価証券評価損益(△は益)	-	1,053
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△357
売上債権の増減額(△は増加)	254,927	247,598
仕入債務の増減額(△は減少)	△19,535	△19,615
未払消費税等の増減額(△は減少)	152,172	△60,644
未払費用の増減額(△は減少)	△72,392	△61,247
その他	24,089	△4,052
小計	318,810	△40,290
利息及び配当金の受取額	1,427	3,329
法人税等の支払額	△2,282	△3,627
法人税等の還付額	280	421
営業活動によるキャッシュ・フロー	318,236	△40,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,636	△3,135
有形固定資産の売却による収入	1,296	510
有形固定資産の除却による支出	△4	-
無形固定資産の取得による支出	△34,254	△12,614
敷金の差入による支出	-	△4,758
敷金の回収による収入	136,617	-
差入保証金の差入による支出	-	△6,910
資産除去債務の履行による支出	△37,947	△16,500
投資有価証券の取得による支出	-	△40
投資有価証券の売却による収入	-	1,640
投資活動によるキャッシュ・フロー	61,071	△41,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	440	153,648
配当金の支払額	△127	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	312	153,630
現金及び現金同等物に係る換算差額	411	5,770
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	380,032	77,426
現金及び現金同等物の期首残高	1,107,756	1,345,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,487,788	1,423,372

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

当社は、2019年12月23日付発行の第8回新株予約権(第三者割当による新株予約権)の行使に伴う新株の発行による払込みを受け、資本金及び資本準備金がそれぞれ72,225千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,014,779千円、資本準備金が980,379千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使による増資)

2020年1月1日から2020年1月31日までの間に、第8回新株予約権の一部の権利行使が行われました。当該新株予約権の権利行使の概要は次の通りです。

(1) 発行した株式の種類及び株式数	普通株式 600,000株
(2) 行使新株予約権個数	60個
(3) 行使価額総額	287,400千円
(4) 増加した資本金の額	144,450千円
(5) 増加した資本準備金の額	144,450千円